

令和6年度花巻市文化財保存活用地域計画協議会会議録

1. 開催日時

令和7年2月20日（木）午前10時00分～午前11時00分

2. 開催場所

石鳥谷総合支所 3階 大会議室

3. 出席者

（1）委員 7名

大原皓二委員（会長）、中村良則委員（副会長）、藤原啓昭委員

小原松雄委員、小原貞一委員、小国朋身委員、村田豊隆委員

（2）事務局 9名

佐藤勝教育長、瀬川幾子教育部長

（文化財課）

上野剛課長、佐藤幸泰課長補佐、伊藤真紀子課長補佐、橋本征也係長

佐々木勝也係長、里舘いづみ主査、酒井宗孝文化財専門官

4. 内 容

議 題

（1）今年度実施（予定）事業の進捗報告と意見聴取について

5. 議事録

（1）開 会

（上野課長）

まだお見えになっていない委員もいらっしゃいますが、ご案内の時刻になりましたので始めさせていただきます。

ただいまから令和6年度花巻市文化財保存活用地域計画協議会を開会いたします。

開会にあたりまして、花巻市教育委員会教育長 佐藤 勝よりご挨拶を申し上げます。

（2）挨 拶

（佐藤教育長）

朝早いところ、またお寒い中ご出席いただき大変ありがとうございます。この協議会は平成 30 年文化財保護法が改正され、それに伴って地域計画策定ということについて示されまして、県の大綱を緩和して花巻市の文化財の保存活用に関する総合計画、マスタープラン、アクションプランである市の文化財保存活用地域計画を策定することとして、令和元年 6 月に設置させていただきました。

そして、おかげさまで昨年度、計画が完成し、県あるいは文化庁にお認めいただいて本年度からスタートしたという状況にあります。この計画の期間は、令和 6 年度から令和 13 年度までの 8 年間。これを前期、中期、後期に分けて実施することとしております。前期は令和 6 年度から令和 7 年度までとし本年度は初年度として各事業を実施してまいりました。

本日はこの設置要綱にある認定地域計画の実施に係る連絡調整に関することを中心としてご協議をお願いするものであります。この地域計画は文化財を受け継ぐ、伝える、守る、創る、活かす、この五つで構成しておりますけれども事業は非常に多岐にわたります。こういった事業の全般について、本日は評価・点検をよろしくお願いしたいと思います。

実際、コロナ後の動きでありますとか、あるいは少子高齢化、様々な文化財に関する価値観の多様化ということで、社会の変化に伴い文化財の保護・継承には様々な課題があるかと思います。それぞれご専門のお立場、それぞれの地域の様子等を踏まえまして、様々忌憚のないご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(上野課長)

それでは早速ではございますけれども、3 議題に入らせていただきます。議事進行につきましては花巻市文化財保存活用地域計画協議会設置要綱第 4 条第 2 項の規定により、議長を大原会長にお願いいたします。

(3) 協 議

(議長 大原会長)

(大原会長)

おはようございます。それでは議事に入りますが、皆様にお配りしている資料の一番最後の新聞のコピーをご覧くださいませ。この岩手日報の記事は令和5年12月21日に載ったものでございます。見落としの方もあるかと思いますが、もう一度確認していただきたいと思ひましてコピーをお配りしました。

それでは、議題 今年度実施(予定)事業の進捗報告を事務局からお願いします。

(里館主査)

資料の表、基本方針と具体的取組についてご覧ください。本資料は令和5年12月に文化庁に認定された花巻市文化財保存活用地域計画に記載されております基本方針と具体的取組のうち、実施計画期間の前期、令和6年から令和7年に含まれている事業を抜き出したものになっております。では、座って説明させていただきます。

(里館主査)

ア＜受け継ぐ＞について説明（議事録への記載省略）

(大原会長)

今日の進捗状況の報告は、今のアから始まってオまででございますので一つずつ、皆さんからご質問等を承りたいと思っております。今、事務局の方でご報告がありました中身で、何かご質問あるいはご意見等ございましたら賜りたいと思ひます。

はい、中村委員。

(中村副会長)

それでは、とても単純な質問といひますか意見といひますか、2ページの真ん中あたりA㉓各種協議会の参画ということで、令和6年度文化財保存活用地域計画連絡協議会に参加ということですが、この協議会はこの場のことですよ。違ひますか。参加というのは何かそぐわない気がするのですが、いかがでしょうか。

(里館主査)

こちらの連絡協議会については、文化庁で主催している全国の協議会になっておりますので、花巻市を含め全国で文化財保存活用地域計画を作成している自治体が集まる会議になります。

(中村副会長)

わかりました。要するにこれは全国ということですね。全国と書いた方がわかりやすいような気がします。

(里館主査)

はい、ありがとうございます。

(大原会長)

今の中村委員の質問はA③にあります令和6年度のこの協議会というのは、文化庁で開かれた会議に花巻から参加したということですね。承知しました。他にありませんか。

はい、小原委員。

(小原貞一委員)

A④古文書等の収集や保管とありますが、今から20年ぐらい前、北上の図書館に行ったときに北上は膨大な古文書類を保管しており、目録があつたりして割と簡単に見ることができます。その他に古文書を読める人もそこに居てとてもいいなと思いました。その当時は和賀さんという方でしたが、花巻にはもっともっとたくさんあるはずだと言われましたが、花巻はなぜか歴史のある町のわりには、古文書類は少ないです。今、博物館にある程度、ほんの少しだと思いますが保管されてあるけれども、古文書というものは一般の人は中身がなかなかわからなかったりする。本格的に読める方は数少ないだろうと思うのですが、収集して保管しているものを順次、学芸員の方が文書化してホームページ上で見られるとか、またはそれを冊子みたいにするとか。

だいぶ前でしたけど、旧沢内村では膨大な古文書類を冊子にしてあり、それをパラパラと見たとき元禄時代に花巻のお店と何か取引があったようなことが書いてあり面白いものだなと思いました。せっかくの資料をただ保管しているばかりではなく、それを一般の方やそういう研究をする方が活用できるような方法にしていいただければと思います。

私自身、南部藩時代の公文書がある程度読んでもらったりしました。公文書というのは、ほどほどに肝入れをやった人などの家にあって、身近な問題が書かれていて非常に面白いなと思いました。

あとは年配の人たちが話をするのは結構嘘が多くて、本当のことがわかっていいなと思います。そういうのはプライバシーの問題があるようなことは何もないですし、そんなに悪いことが書いているものは限りなくない。うまく活用できれば自分たちの地域の歴史等がわかっていいのではないかなと思います。これは要望です。

(大原会長)

村田委員、どうぞ。

(村田委員)

博物館の資料に関してのご意見ということで承りましたので、私の方からのお話をさせていただきたいと思います。

博物館におきましても古文書をはじめとする資料を相当量保管しておりますし、また資料の収集という形でも順次進めているところです。そして古文書に書かれている内容について、それを市民の皆さんをはじめ一般に公開あるいはわかりやすい形で公開をしていくということにつきましては、まずは翻刻作業というところに関してですけれども、資料1ページのA④で今お話をいただいています、その中で県指定文化財であります盛岡藩北家の御次留書帳につきましても資料としてはかなり膨大な量の資料でございますけれども、こちらを継続して翻刻作業して毎年、今は1冊ずつ一定の年数の部分に関して翻刻したものを発行しているという状況で、こちらの方は図書館を始めいろいろなところでご覧いただくことができるという状況でございます、そちらを継続して進めているところでございます。

それから博物館では今、花巻市史の編さんも同時に行っておりまして、こちらの方も資料収集でありますとか、これからになりますけども市民の皆さんにお声がけをして、古文書などといった花巻に関する資料の情報提供をいただいて、それを市史編さんの資料としても活用していきたいというように考えているところです。

市民の皆様に広く目に触れる機会、あるいはホームページなどでもそういった情報がわかるようにというご意見につきましても、博物館では博物館法が最近改正になりまして、デジタルミュージアムというインターネットを使って閲覧できるというようなところも進めていきたいと思いますという形で改正をされているところです。まだまだ花巻市の博物館ではそういった資料のホームページの公開というところは進んでいないところでありまして、そういった古文書や歴史資料というところも公開ができるような形で考えられればいいということで、そちらの方も将来的な公開に向けては検討していきたいと考えているところでございます。

(大原会長)

ちなみにA④にあります博物館が実施している古文書、計600点の中身というのは、これは今までに600点寄贈を受けたという意味合いなのか、いつからの期間にこの600点が寄贈されたのかというこのあたりはいかがですか。

(村田委員)

これは合計件数というよりも、一定時期に600点寄贈いただいた資料の目録作成というところを始めているところでございます。また括弧のところで、ふるさと歴史資料館に収蔵している古文書につきましても、今、整理作業をしているところでございまして、実際にどのような中身が書かれているか、翻刻まではしておりませんけれども、こういった内容の資料なのかというところを整理して、1点ずつ封筒に入れるというような整理をしているところです。こちらの東和ふるさと歴史資料館の資料に関しましてはここ数年そういった整理作業をしております、あと東和の歴史を学ぶ会の皆さんにも、こういった資料がありますよというところの情報共有を昨年暮れにやった経緯もございましたので、そういったところで皆さんと協議しながら、資料を活用していきたいと考えております。

(大原会長)

他にございますか。

はい、藤原委員。

(藤原委員)

1 ページ目のA⑥登録有形文化財の保存活用の検討というところで、取り組み状況に花巻温泉の旧松雲閣別館についてという記載がありますが、可能な範囲で保存・活用についての相談の内容や今後の対応や見通しみたいなものがあれば教えていただけるとありがたいです。

(伊藤課長補佐)

松雲閣については花巻温泉さんの方から登録有形を今後活用していくために、何か補助金みたいなものはないでしょうかというご相談があったところです。文化庁の方でも活用について補助金はあるけれども、花巻温泉さんで考えている総事業費に対して10分の1くらいの補助金しかないですというお話をして、ちょっとそれでは困りましたねというところで、わかりましたとご了承いただいたような状況になっているところです。

その後、他の観光的なもので何か使える補助金はないか、文化庁の補助金以外のものもちょっと考えてみますということで花巻温泉さんからのお返事があり、そこまでという状況になっているところです。

(大原会長)

はい、中村委員。

(中村副会長)

少し戻る形になると思いますが、A④で今は所有しているものを整理しているということだと思うのですが、市史編さんということもあって、今、まだ出てきていない資料、例えば絵図とか様々な古文書とか、それから近代であれば写真資料とかいろいろあると思うのですが、いろんな家に眠っている資料が結構あるのではないかと思います。

ます。こういうものを収集する取り組みというのは、現在どのような形で行われていて、どのようなところに問題点があるのか、ちょっと教えていただければと思います。

(村田委員)

市史編さんのご質問でございますけれども、博物館に所蔵している資料以外の資料ということですが、花巻市史の編さんにあたりまして、実際に編さん作業を行っていくための部会というものを今年度立ち上げていくということで、実は明日から順次、各時代の部会を立ち上げて会議を行っていくことにしております。その中で部会の委員の皆さんから情報をいただいた部分に関して、調査を行って収集をしていくという方法も一つ当然ありますけれども、もう一つは今度の3月1日号の広報に、市民の皆さん向けに資料の情報提供をいただきたいという取り組みをしようということで、今、準備を進めております。実際に古文書でありますとか絵図でありますとか、そういった昔の写真というような花巻に関係する資料について、まずは情報提供いただく。一旦そういった情報を入手し、それをどのように活用するか検討していくというところは進めていきたいと思っておりますし、また実際に博物館以外にも資料を所蔵している機関もございますので、そういったところの資料の収蔵状況、保管状況というところも、まず整理をして作業に入っていきたいということで今、考えているところでございます。

(中村委員)

質問したのは、例えば僕は湯本の方に住んでいるのですが、時々集まってお酒飲んだ後に聞くと、うちにはこんな資料があるのだよと言って絵図を見せてくれたりします。それを買ってくれないかとかという話がありました。大学に寄贈してもらえればというように思うけれども、やはり持っている人にとしてみると少しでもというようなことがわからないでもない。ですので、その辺でインセンティブがもしあればというところもどうなのかなというのが一つと、それから広報で広く訴えるのもそうでしょうけれども、コミュニティ会議単位でお前のところはどうなのだよとかという形で口コミで資料を集めていくというか、そういう啓発をするのも必要なことかもしれないなというふうに思ったところがあってご質問した次第です。

もう一つ言うと、僕は北上市史の編さんで現代の方を担当したのですが、やはり圧倒的に資料が少ないです。古いものは古文書がたくさんありますが、明治以降になって特に戦後になってくると紙に書かれたものはないわけではないけれども、肝心なものが無かったり、写真の資料とか日常生活の資料というのは本当に無いと言った方がいいです。

今から思うと、よほど意図的に収集すればよかったと思っているのですが、よほど力を入れてやらないとなかなか普通に埋もれているものは出てこないということだと思いますので、市史もそうですし花巻市の文化財収集というところでも頑張っていたいただければいいなという趣旨でした。

(大原会長)

中村先生のところにも独自に収集されている資料などもたくさんおありではないかと推察するのですが、いろいろ市史編さん作業が進んでいる話がありましたので、何かといろいろご指導いただかなければならないかと思います。よろしくお願いいたします。他にありますか。

はい、小国委員。

(小国委員)

D①民俗芸能の保存・伝承活動の支援ということで、まずもって行政の方々に発表の場や道具の補充等々いろいろと考えていただきまして誠にありがとうございます。そういう形で何とか保存・伝承ができているのかなというように考えております。

私が心配しているのは、最近、特に山村部が人口減少というよりも、もう集落が成り立たない状態になっていまして、大迫町でみますと高齢化率がもう60%なんです。65歳以上の方が60%で、100人のうち60人がもう65歳以上で、どこを見ても空き家状態です。あとは空き家ではなくても一人暮らしの老人が住んでいるという形のところで民俗芸能を保存しているわけですけども、どう考えても保存団体だけとか地域とか集落だけではもう保存できるような状態ではないです。これをどうするかというところを考える人が欲しい。保存団体としてはもう対応できかねると思いますので、

行政なり専門的な組織なり何でもいいのですが、そういう形でどう持っていくかというところを考えてあげないと、もう全部自然消滅してしまうだろうと思っております。

ちなみに私のところも今はいいのですが、次の代の若者がいません。だから保存しようと言っても人がいないという状態になってきましたので、それをどのように保存していくのかというところ。

地元人がいないわけですので将来的にはそうならざるを得ないのかなというところも含めて、そういう何か体制作りをお願いしたいなど。

私もどうやったら残せるのかなと悶々と考えているのですが、考えがなかなかまとまりません。まず人がいないという実態があります。私の知るうちでも、もう潰れそうな団体がたくさんありますので今度3月に花巻地方神楽協会の中村博物館長さんと呼んで花巻地方の神楽の研修会をしようということで、その中の前座で潰れそうな団体があるけれどもどうしようかということのを少し話し合ってみようという試みをするのですが、果たして地域で持っていけるかどうかという心配です。

私の悩みを聞いていただいて、質問ということではありませんがそういうお願いでございます。よろしくお願いします。

(大原会長)

小国委員は先頭に立って伝承活動を頑張っておいでです。切実な問題だと思います。重い提案といえますか、お話が出ました。この辺について事務局の方から何か現状、認識等も含めてお願いします。

(上野課長)

今、小国委員からお話があった通り、民俗芸能の団体については、今年、調査をさせていただいたのですが、やはり各団体が課題として抱えているものとしては、保存会の方々の高齢化ですとか、あるいは後継者の育成といったところで後継者がいらっしやらないということが、もう半分以上の団体さんでそれが一番の課題だというように捉えていらっしやるということを伺っております。

小国委員からもなかなか思いつかないけれどもというようなお話があったのですが、大きく人口が減っているということで、難しい問題だとは思いますが、教育

委員会の方といたしましても、考える体制作りをというお話がありましたが、各団体
といろいろお話を伺いながら、対策といいますか模索していければと、そのように思
っております。

(大原会長)

他に、このアの項目でご意見はございませんか。もしなければ進みます。

資料4ページのイの項目をご説明ください。

(里舘主査)

イ<伝える>について説明（議事録への記載省略）

(大原会長)

イ<伝える>に関しました進捗状況の報告がありました。このことについて、ご
意見、ご質問等ございましたらお願いします。

はい、藤原委員。

(藤原委員)

C①で観光協会というのが出てきたので少しお話させていただきます。

市内の文化財などそういったものについては、うちの協会の方でもホームページ
等で何かイベント等があればお知らせさせていただいておりますし、今年度、令和
6年度、令和7年度については県の観光ガイドの協議会の事務局をやっておりまし
て、県内のガイドさんを集めて、せんだって文化財の大迫の方を巡らせていただい
て紹介させていただいたりしております。

その中で、文化財の周遊コースの設定ということで、前期で言うと令和6年度も
終わりかけなので令和7年度になるかと思えますけれども、花巻市も広い土地なの
で、令和7年度中にこういった検討がされるのは非常にいいことなのですが、花巻
の観光は空港からのとか、駅からのとか、足の確保が結構大変なので課題になりま
す。広い土地ということで周遊するとなると、そういった具体的なところも今後出
てくるかと思うので、そういった部署も入っているといいのかなと思うところもあ

ります。ですので令和7年度にそういった予定もあれば入れていただきたいのと、
時期的にいつ頃とか、令和7年度中に予定が現在あれば教えていただければと思います。

(上野課長)

大変申し訳ございません。そのことにつきましては令和7年度の予定はまだ決ま
ってございませんので、また追って予定が定まり次第ご相談申し上げたいと思いま
す。

(大原会長)

他にございましたら。よろしければ次に進ませていただきます。

5 ページ目のウ<守る>につきまして進捗の報告をお願いいたします。

(里館主査)

ウ<守る>について説明（議事録への記載省略）

(大原会長)

ウの項目の進捗報告がございました。このことにつきまして、よろしゅうござい
ますか。

それでは進めます。6 ページ、エ<創る>に関する進捗状況についてご報告くだ
さい。

(里館主査)

エ<創る>について説明（議事録への記載省略）

(大原会長)

エ<創る>に関して報告がございました。このことについて、どなたか。

よろしゅうございますか。

それでは進みます。7 ページ、オ<活かす>に関する進捗の報告をお願いいたし
ます。

(里舘主査)

オ<活かす>について説明（議事録への記載省略）

(大原会長)

オ<活かす>についての進捗の報告がございました。このことについて、何か。

はい、小原委員さん。

(小原松雄委員)

ちょっと確認でございますけれども、B②の最初でございますが、土沢地域づくり会議で収蔵品の一部を展示というこの表現はコミュニティセンターのホールに展示しているものを指しているのか。であれば、コミュニティ会議の収蔵品ではないと思うのですが。確認でございます。

(伊藤課長補佐)

小原委員のおっしゃるとおり、土沢コミセンの展示ホール内に市博物館の収蔵品の一部を展示公開中の事業について書きたかったところなのですが、この文章だと間違ったように読めますね。すいません、書き方が悪かったです。

(小原松雄委員)

了解です。

(大原委員)

他によろしゅうございますか。

それでは進めます。進捗報告につきましてはアからオまで全てご報告をいただきました。今日の議題に関しましては、今年度の実施あるいは予定の事業の進捗報告がありましたし、この後の議題の中には意見聴取ということになりますが、その都度お聞きしてまいりました。全体を通して皆さんの方から何かご提案等ございましたらお願いいたします。

はい、藤原委員さん。

(藤原委員)

全体を通してというか、認識が少し浅いので聞きたいなと思ったのですが、計画物なので基本的にはこういったものに指標、もしくはそういった評価みたいなものはあるのでしょうか。

(里館主査)

この地域計画を作成したときに指標を作ることとしてやっていたのですが、すみません、現時点でまだ計画の進捗具合などの指標の作成まではできていないところでしたので今後作成したいと思います。

(大原会長)

令和6年度と新年度の令和7年度、この2年間にわたる前期実施の計画ということで、進捗状況および予定をご報告いただきました。もし他になれば、今日の議題を閉じさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(上野課長)

大原会長、ありがとうございました。それでは次第の4その他でございますけれども事務局の方から2点ほどお知らせをいたします。

今回の本協議会の開催時期についてでございますが、令和7年度中を予定しております。まだ時期については未定でございます。

内容といたしましては、今回と同様に、来年度令和7年度に実施した事業の進捗状況をメインといたしまして、翌年の令和8年度以降の実施事業についても触れてまいりたいとそうように考えております。

次、2点目でございます。委員の皆様の任期についてでございますけれども、令和7年5月31日で任期満了となります。次期委員の選任につきましては、引き続き6月1日付の委嘱に向けて手続きを進めて参りたいと考えてございますので、そちらについても何卒よろしくお願ひしたいと思っております。

事務局からは以上でございます。委員の皆様からその他、何かございますでしょうか。

(委員)

特になし

(上野課長)

それでは長時間にわたりましてご協力ありがとうございました。以上をもちまして令和6年度花巻市文化財保存活用地域計画協議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。